

# 自動ログインおよびアプリケーションの起動方法

版	日付	2016/05/20	記述	4, 5を加筆
3	発行	プロフェッショナルサービス	作成	大島龍博 確認 承認
版	日付	2016/05/20	記述	3を加筆訂正
2	発行	プロフェッショナルサービス	作成	大島龍博 確認 承認 承認
版	日付	2016/05/19	記述	新規発行
1	発行	プロフェッショナルサービス	作成	大島龍博 確認 承認

± 15	自動ログインおよびアプリケーションの起動方法	No	版	3
表題			ヘ゜ーシ゛	1/6





## 目次

É	自動ログインおよびアプリケーションの起動方法		
1	概要	3	
2	graphical-user. target 状態での自動ログインと起動	3	
3	multi-user. target 状態からの自動ログインと X の起動	5	
4	タイトルバーを消去する方法	6	
5	マウスカーソル/ポインタを消す方法	6	



#### 1 概要

本稿は、RedHawk7.0における自動ログインとアプリケーションの起動方法について記述する。

### 2 graphical-user. target 状態での自動ログインと起動

① /etc/gdm/custom.conf の daemon セクションに以下の 3 行を追加する。

[daemon]

AutomaticLoginEnable=true

AutomaticLogin=root (ユーザ名を root として、自動ログインさせたい場合)

② 起動するアプリケーションをデスクトップメニューから下記手順で登録する。

### 日本語環境の場合

「アプリケーション」->「システムツール」->「自動起動するアプリケーション」

#### 英語環境の場合

「Apprication」->「System Tools」->「Startup Applications」を選択する。

③ 選択すると、

「自動起動するアプリケーションの設定画面」

あるいは、

「Startup Applications Preferences」

のポップアップ画面が現れるので、[Add]あるいは[**追加**]ボタンをクリックして、必要な情報を設定する。

名前 [XTERM]

コマンド[/usr/bin/xterm]

説明 「試験]

Name [XTERM]

Command[/usr/bin/xterm]

Comment[test]



設定された情報は、ホームディレクトリ以下の. config/autostart ディレクトリにファイルとして作成される。

例えば、/usr/bin/xterm を自動起動させると xterm. desktop が以下のように作成される。

[Desktop Entry]

Type=Application

Exec=/usr/bin/xterm

Hidden=false

NoDisplay=false

X-GNOME-Autostart-enabled=true

Name[ja\_JP]=XTERM

Name=XTERM

Comment[ja\_JP]=試験

Comment=試験

[Desktop Entry]

Type=Application

Exec=/usr/bin/xterm

Hidden=false

NoDisplay=false

X-GNOME-Autostart-enabled=true

Name[en\_US]=XTERM

Name=XTERM

Comment[en\_US]=test

Comment=test

再起動すると、xterm が自動起動する。



#### 3 multi-user. target 状態からの自動ログインと X の起動

- ① 以下の自動コンソールログイン手順を行う。
  - オリジナルの getty@tty1. service シンボリックリンクを削除
     # rm /etc/systemd/system/getty. target. wants/getty@tty1. service
  - 2. getty@. service ファイルを getty@tty1. service としてコピーする。

# cp /lib/systemd/system/getty@.service /etc/systemd/system/getty@tty1.service

3. コピーした getty@tty1. service ファイルの Service 部分を以下のように編集する(赤字を追加)

[Service]

. . .

ExecStart=-/sbin/agetty --autologin root --noclear %I

. . .

- 4. 編集したファイルをシンボリックリンク getty. target. wants とする
  - # ln -s /etc/systemd/system/getty@tty1.service ¥

/etc/systemd/system/getty.target.wants/getty@tty1.service

② 下記コマンドを実行しマルチユーザーモードに設定する。

# systemctl set-default multi-user.target

③ /root/. bashrc に下記を記述する。

TTY=\din/tty\

if [ -z "\$DISPLAY" ] && [ "\$TTY" == "/dev/tty1" ]; then

/usr/bin/startx

fi

#\_\_\_\_\_

④ /root/. xinitrc を作成しウィンドウマネージャやアプリ起動用のシェルを記述する。

例:

/usr/bin/xterm

- ※ 作成しない場合には、ディフォルトのウィンドウマネージャ(gdm)が起動するので前節のgraphical-user.target 状態と同様の処理になる。。
- ⑤ reboot すると root としてログインし、④で定義したシェルスクリプトを自動実行する。

<b>丰</b> 昭	ウギョ <i>ピノ</i> 、かしがっぷゖ <i>レ</i> ・`_ ヽのヤチナナ	No	版	3
表題	自動ログインおよびアプリケーションの起動方法		ページ	5/6



### 4 タイトルバーを消去する方法

/usr/share/themes/Adwaita/metacity-1/metacity-theme-3.xml を編集する

- ① frame\_geometry name="max" の行を検索し、
  frame\_geometry name="max" の後ろに has\_title="false" を追加する。
- ③ Alt+F2 を押し、r, を入力し Enter/Return を押すと変更がアプライされる。
  メニューから最大化すると、GNOME のメニュー以外の部分はアプリケーションで使用可能になる。

## 5 マウスカーソル/ポインタを消す方法

"3 multi-user. target 状態からの自動ログインと X の起動 "の起動時に

/usr/bin/startx -- -nocursor

を指定する。